

施策評価調書(22年度実績)

| | | | | |
|------|---|----------------------|-------|---------|
| 政策体系 | 施策名 | 大学等高等教育の推進 | 施策コード | V-1-(3) |
| | 政策名 | 多様な教育の推進と未来を拓く青少年の育成 | 主管部局名 | 企画振興部 |
| | | | 担当課室名 | 政策企画課 |
| 施策概要 | 若者の県内定住による地域活性化につなげるため、個性豊かなたくましい人材育成を目的とした高等教育が推進されるよう、魅力ある大学等の整備、充実を図るための事業を実施する。 | | | |

【評価指標】

| | 主な取組 | 指標 | 基準値 | | 22年度 | | | 27年度 |
|---|-----------------------|-------------------|-----|------|----------|-------|--------|-------|
| | | | 年度 | 基準値 | 目標値a | 実績b | b/a | 目標値 |
| ① | 公立大学法人制度の導入による大学改革の推進 | i 評価委員会による事業年度評価 | 16 | — | 164 | 168 | 102.4% | — |
| ② | 地域に貢献できる個性豊かな大学等の育成 | ii 県内大学等の地域連携協定数 | 16 | 17 | 26 | 72 | 276.9% | 33 |
| | | iii 看護科学大学学生の就職率 | 16 | 100 | 100.0 | 100.0 | 100.0% | 100.0 |
| | | iv 芸術文化短期大学学生の就職率 | 16 | 85.6 | 90.0 | 87.6 | 97.3% | 90.0 |
| | | | | | 平均達成率(%) | | 144.2% | |

【業績評価】

| No. | 業 績 評 価 | | 平 均 評 価 |
|------|---------|--|---------|
| i | 達成 | いずれの大学も、全体的に計画を順調に実施しており、評価される5分野においても、「上回って実施している」又は「計画通り実施している」との評価を受けた。 | |
| ii | 達成 | 国立大学や公立大学の法人化等に伴い、地域連携協定に対する取組が強化されたことなどから目標が達成された。特に別府大学において積極的な取組がなされた。 | |
| iii | 達成 | 大学の法人化に伴い、就職支援体制が強化されたことにより、目標は達成された。 | |
| viii | 概ね達成 | 大学の法人化に伴い、就職支援体制が強化され、目標は概ね達成された。 | 達成 |

【施策目的を達成するための主な事業(22年度)】

| 指標 No. | 事業名 | 事務事業評価 | | 事業コスト |
|-----------------|----------------|--------|-----|-----------|
| | | 総合評価 | 掲載頁 | |
| i、ii、 iii、iv | 1 公立大学法人運営費交付金 | 現状維持 | 29 | 1,080,420 |

【構成事業の妥当性】

厳しい大学間競争を勝ち抜くための方策として、県立大学を法人化し、「県民に魅力のある」、「地域ニーズに応える」、「効率性・透明性の高い」大学づくりを進めている。平成18年度以降は運営費交付金を交付して、大学の自主運営を支援していく必要がある。

【施策主管部局評価】

| 評価 | ア 拡充 <input checked="" type="radio"/> イ 現状維持 ウ 見直し |
|----|--|
| 理由 | 平成18年度の法人化以降、両大学は県が示した中期目標に基づき、大学が作成した中期計画（県が評価委員会の意見を聴いて認可）によって、法人化のメリットを活かしながら、活力ある大学づくり等に自主的に取り組んでいる。 |

【施策目的を達成するための主な事業(23年度)】

| 指標 No. | 事業名 | 取組内容 | 事業コスト |
|-----------------|----------------|----------------------------|-----------|
| i、ii、 iii、iv | 1 公立大学法人運営費交付金 | 運営費交付金により、法人による自主的な大学運営を支援 | 1,043,996 |

【今後の施策展開の方向性】

平成18年度から6年間の中期目標の達成に向かって、教職員の意識改革を図り、県民本意の開かれた大学を目指し、引き続き支援していく。